



— 目次 — Contents

- 2 平成 28 年 年頭のごあいさつ
- 4 お早めに！ 税の申告準備
- 8 行政情報／個人番号カード受け取りの手順ほか
- 10 行政情報／市営住宅入居者募集ほか
- 14 高梁の高校に行こう！ ほか
- 15 在宅医療連携拠点事業通信  
・地域おこし協力隊がゆく
- 16 ぐらしの情報／子育て支援情報
- 18 ぐらしの情報／生活支援情報
- 20 情報プラス
- 21 児島虎次郎を偲ぶ絵画展
- 22 検診情報・ヘルシーレシピ
- 23 高梁偉人列伝
- 24 成羽病院通信・学園だより
- 25 図書館だより
- 26 2016 甲午の皆さん
- 28 市民のページ
- 30 イベント情報
- 31 まちの出来事
- 32 なりわ神楽マラソン・晴れの国岡山駅伝競走大会  
・ちょっとひとこと

— 表紙 — Cover

1月1日、「天神山元旦登山」(湯野コミュニティ活動推進協議会主催)が開催されました。山の端からオレンジ色の光が現れると、登山した約70人は大きな歓声を上げ、拍手をしたり、写真に収めたりしていました。

— 人口 — Population

	人口・世帯数 (人・世帯)	前月比 (人・世帯)
総人口	32,356	-42
男性	15,491	-17
女性	16,865	-25
世帯数	14,693	-17

(平成 27 年 12 月末現在・外国人含む)



高梁市長  
近藤 隆 則

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。希望に満ちた清々しい新年を迎えられたことを、謹んでお喜び申し上げます。また、旧年中の市政推進へのご理解ご支援に厚くお礼申し上げます。

昨年、北里大学・特別荣誉教授の大村智氏がノーベル生理学・医学賞を、東京大学の梶田隆章氏がノーベル物理学賞を受賞され、2年連続での日本人受賞となりました。スポーツにおいても、女子サッカーワールドカップでの準優勝、ラグビーワールドカップでは、南アフリカから歴史的勝利を挙げるなど、日本国民が感動に酔いしれました。

一方、9月の関東・東北豪雨では、8人が亡くなられた

ほか、約1万9千戸の住宅被害が発生しました。自然災害から命を守るには、日頃からの備えが重要です。本市においても、自分たちの命と地域は、自分たちで守るといふ防災意識をいっそう高め、災害に強い町づくりを進めていきます。

さて、本年の干支「丙申」は、形が現れて実が固まってくる年といわれています。3月末に、JR備中高梁駅周辺の整備が完了し、12月には、図書館を核とした複合施設がオープンする予定です。最重要課題として掲げている、子育て・定住対策についても、徐々に成果が現れているところです。

本年1月に策定する「高梁市市人口ビジョン」と「高梁市

まち・ひと・しごと総合戦略」により、出生率の上昇を図るとともに、子どもを産み育てる親世代の人口減少に歯止めをかけ、望ましい世代構成を実現させるための長期的な取り組みを進めます。

また、教育は「人づくり」の根幹をなすものです。「園・小・中・高・大」までの一貫した教育を行い、成長段階に応じた質の高い教育を取り入れることで、個性や能力を伸ばし、ふるさとに誇りを持った高梁市の次代を担う人材を輩出することに力を注いでまいります。

結びに、新しい年が市民の皆さまにとりまして、実りある1年となりますことを心から祈念いたします。



高梁市議会議長  
倉野 嗣 雄

# 平成二十八年 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

例年になく暖かく過ごしやすい年末年始ではありましたが、一方で地球温暖化への懸念が一層増した年明けでもあります。昨年も豪雨等により、日本各地が自然災害の脅威にさらされており、防災への取り組みの大切さを一段と感じたところがございます。

さて、本年はマイナンバー制度の運用や十八歳選挙権の導入など、新たな制度改革が始まる年でもあります。特に、選挙権年齢が「二十歳以上」から「十八歳以上」に引き下げられたことで、国や地

方の針路を選択する若い有権者が増え、今までも若者の目が政治に向くことが期待できます。

また、昨年からの計画策定段階を経て、いよいよ本年は、「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく本市の創生への取り組みが本格的に始まります。地方創生とは、少子高齢化を克服し、発展し続ける豊かな地域社会を築くことでもあります。そのためには、特に女性や若者にとっても、魅力のある高梁市を創っていくことが必要であると考えます。

議会といたしましては、人口減少問題を第一の課題と捉え、定住・移住対策を念頭に、地方創生に取り組んでま

いります。そして、毎年実施しております議会報告会をさらに充実させ、女性や若者を含めた多くの皆さまに意見交換会に参加していただけるように工夫し、市民の皆さまの声を大切にしながら、高梁市のあるべき姿を追求してまいりる所存であります。

期待と不安が交錯する中で始まった平成二十八年でありますが、将来の魅力あるまちづくりのため、努力してまいりますので、市民の皆さまには一層のご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

勝とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

天神山から眺めた初日の出と雲海・1月1日